

作成日 平成20年7月2日
改訂日 平成26年11月1日

標準施工仕様書

製品名 ファインローラーSi

仕様 メルトップSi仕様

山本窯業化工株式会社

技 術 部

製品概要

適用箇所 屋内・屋外壁面
 施工不可部位 天端(笠木・手すり・セットバック等)や幅木、バラベツトへの施工は避けて下さい。

施工上の注意事項

- 1 下地調整の工程は塗装工事における責任範囲には含まれません。
 - 2 養生テープは塗膜厚を考慮して、強度の高いものを使用して下さい。
 - 3 コンプレッサーは3馬力以上のものご使用下さい。(セラグラニーの3頭ガンは5馬力以上)
 - 4 下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
 - 5 改装工事の場合、下地の状態を十分に調査し、劣化塗膜の浮き、割れ、チョーキング等の場合、これを完全に除去し、清掃してから施工して下さい。
 - 6 金属下地及び釘頭などの上に施工する場合、必ず防錆処理を行って下さい。
 - 7 施工にあたっては同一ロット、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げして下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因になります。
 - 8 気温5℃以下、湿度85%以上または降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。
 また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。なお、夜間の気温が氷点下になる恐れがある場合は、午後3時頃までに作業を打ち切るようにして下さい。
 - 9 施工後24時間以内に降雨、結露等水の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
 - 10 湿度の高い場合、乾燥が遅れますので十分換気して下さい。乾燥が不十分ですと色ムラ・剥離等を生じる原因となります。
 - 11 低温、高湿度、風通しの悪い場合に白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
 - 12 冬期・低温時の施工では溶剤系下塗材(シーラー)を使用して下さい。水系下塗材(シーラー)の場合、乾燥が遅くなるため仕上がりにムラを生じる事があります。
 - 13 常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
 - 14 安全衛生上の注意事項については、下記に掲載していますが、容器の表示も合わせてご参照下さい。
 - 15 その他の注意事項
 - ①材料の有効期間は密封保存で6ヶ月以内ですが、早めに使用して下さい。
 - ②材料の保管は気温5～35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
- ※その他、ご不明な点がございましたら、弊社までお問い合わせ下さい。

施工の区切りについて

大面積の場合、施工が困難となりますので、次のような処置を行って下さい。

- 1 躯体目地を利用して下さい。躯体目地に沿ってテープ養生し、1スパン毎に仕上げして下さい。隣接する仕上がり面に施工しないように、アテ板養生又は逆養生を行って下さい。
- 2 テープ等により、目地を設けて下さい。水平及び垂直にテープ等を貼り付けて、目地を設けた後、逆養生してスパン毎に施工して下さい。
- 3 大面積の場合は、設計段階で許される範囲内で、できるだけ目地を設けるようにして下さい。

安全衛生上の注意事項

水系商品対象

取扱い及び貯蔵上の注意

- 1 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
- 2 取扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- 3 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 4 塗装・洗浄・乾燥等を行う取扱い作業場所では局所排気装置を設け、作業中・作業後も充分換気を行って下さい。

緊急時及び応急処置

- 1 容器からこぼれた場合には、砂等を散布した後処理して下さい。
- 2 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 3 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。

廃棄上の注意

- 1 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- 2 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。

標準施工仕様

本施工に入る前に試験吹きを行い、吹き付けのタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりがムラにならないよう確認して下さい。

目地なし仕様

工程	使用材料名と調合割合	所要量 (kg/m ²)	使用器具	回数	間隔時間
1	下地調整	下地の種類によって適切な処理をする。			
2	下塗材	セラプライマーカーHi 16kg 清水 0~0.8kg	0.2~0.3	ウールローラー	1~2 3時間以上 3日以内
3	主材下塗	ファインローラーSi(下塗材) 20kg 清水 0.4~0.8kg	1.2~1.5	砂骨ローラー	1 4時間以上
4	主材上塗	ファインローラーSi(上塗材) 20kg 清水 1.2~1.6kg	1.0~1.3	ウールローラー(ポリエステル製) 無泡タイプ(中毛)	1 24時間以上
5	仕上材	マルチップSi(全艶) 15kg 清水 1.6~2.3kg	0.20~0.25	ウールローラー	2 3時間以上

目地あり仕様

工程	使用材料名と調合割合	所要量 (kg/m ²)	使用器具	回数	間隔時間
1	下地調整	下地の種類によって適切な処理をする。			
2	目地着色	目地着色材 20kg 清水 0~2kg	0.15~0.4	刷毛 ローラー	1~2 24時間以上 7日以内
3	墨出し	設計や元請の指示に従い目地割りし、水盛、振り下げまたはトランシットを使用して墨出します。			
4	目地テープ貼付	目地テープを墨出しに沿って正確に貼り付けます。			
5	下塗材	セラプライマーカーHi 16kg 清水 0~0.8kg	0.2~0.3	ウールローラー	1~2 3時間以上 3日以内
6	主材下塗	ファインローラーSi(下塗材) 20kg 清水 0.4~0.8kg	1.2~1.5	砂骨ローラー	1 4時間以上
7	主材上塗	ファインローラーSi(上塗材) 20kg 清水 1.2~1.6kg	1.0~1.3	ウールローラー(ポリエステル製) 無泡タイプ(中毛)	1 0~10分
8	目地テープ除去	主材表面が乾燥する前に目地テープを取り除きます。			24時間以上
9	仕上材	マルチップSi(全艶) 15kg 清水 1.6~2.3kg	0.20~0.25	ウールローラー	2 3時間以上

※ セラプライマーカーHiは1回塗りで下地の隠蔽が図れない場合は2回塗りを行ってください。(目地仕様などの場合)

※ ファインローラーSi(上塗材)はマイカの偏りが生じないように周りのパターンに合わせながら、施工して下さい。

塗装上の注意事項

- 1 ファインローラーSi(下塗材)20kg/缶に対して清水0.4~0.8kg、ファインローラーSi(上塗材)20kg/缶に対して清水1.0~1.6kg加え、均一になるまでよく攪拌してください。
- 2 尚、施工前にテスト塗装を行いパターン、ローラーの運び具合、材料粘度を確認して下さい。□
- 3 ローラーは専用ローラー(下塗材は砂骨ローラー、上塗材はローラー(ポリエステル製))を使用して下さい。
- 4 他のローラーを使用すると仕上がり状態、塗装作業性等に著しい影響を与えます。

下塗り

- ① 材料を均一にローラーに含ませてください。□
- ② まず、コーナー部をコーナー用ローラー、筋違い刷毛で面を囲むように塗って下さい。□
- ③ 中央面の塗装はタテ塗りし、次にタテ、ヨコローラーを転がしてローラーマークが生じないよう、また、厚塗りにならないようになりし塗りして下さい。下塗は、下地に材料がムラなく付着する程度に塗装します。

上塗り

- ① ローラー(ポリエステル製)に材料を均一に含ませて下さい。
- ② タテ、ヨコにローラーを転がしてローラーマーク、マイカの偏りが生じないように塗りし塗りをして下さい。
- ③ ファインローラーSi(上塗材)はしごき塗りをせずに、材料を載せるように施工して下さい。

上塗り用ローラー 好川産業株式会社「青雲」シリーズ
大塚刷毛製造株式会社「TSUBASA」シリーズ
好川産業株式会社無泡ローラー「シルキー」シリーズ 等がお勧めです。

上記の各数値はすべて標準のものです。施工方法・施工条件等により、多少の差異が生じる事がありますのでご了承下さい。

間隔時間は気温23°C(湿度50%の場合です。気温が低い場合や湿度が高い場合は間隔時間を長めにとって下さい。